

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	06	06	124240	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	
総合計画	分野	行政経営				
	政策	5-1	効率的・効果的な行政運営			
	施策	4	行政評価の活用			
目的	地方版総合戦略により実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略の改訂を行う。					
対象	花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業					
意図	実施事業の検証と適切な執行					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<p>○花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議の開催 総合戦略により実施した施策・事業の効果を検証するとともに、改訂版総合戦略を策定するため有識者会議を開催</p> <p>○移住・定住の推進を図るための住民異動状況分析 岩手県立大学の協力を得て、首都圏や県内主要市町等への転出状況に加え、花巻市全市及び市内各地域（花巻地域、大迫地域、石鳥谷地域、東和地域）における岩手県外・花巻市外の県内・花巻市内との間での転入・転出の状況について分析を実施</p> <p>○地方創生に係る協議・研修</p>						
市民参画の有無 [有識者会議の開催]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 有識者会議開催回数	回		計画	3	2	
			実績	1	2	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	総合戦略は自治体が策定し、効果の検証を行うものであり、妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	ガイドラインに準じた謝礼単価であること、また、必要最低限の人員での進行管理・改訂版の策定を行うことから、削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目的とし、全市的な効果を期待する施策を実施することから適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
総合戦略の4つの基本目標の成果指標（KGI）15項目の達成状況については、目標達成：1、基準値を上回る：8項目、基準値を下回る：5項目、測定不能：1項目となった。		
改訂版策定に当たっては、主に掲載事業の精査、成果指標の項目、目標数値の修正等を実施した。		
基本目標の成果指標（KGI）においては、15項目のうち、指標変更（4項目）、目標値修正（3項目）、施策の方向性の成果指標（KPI）においては、98項目に新たに1項目を追加し99項目とするほか、指標変更（25項目）、目標値修正（21項目）を実施。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業Jコード	事業名
一般	02	01	06	124240	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		157	464		307
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	157	464		307

※特定財源の内訳

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 27 年度 ~ 平成 31 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------------

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

平成26年12月27日に国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されたことにより、地方公共団体においても「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」を策定し推進することとしている。

事業概要

- 花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議の開催
総合戦略により実施した施策・事業の効果を検証するとともに、改訂版総合戦略を策定するため有識者会議を開催
- 移住・定住の推進を図るための住民異動状況分析
岩手県立大学の協力を得て、首都圏や県内主要市町等への転出状況に加え、花巻市全市及び市内各地域（花巻地域、大迫地域、石鳥谷地域、東和地域）における岩手県外・花巻市外の県内・花巻市内との間での転入・転出の状況について分析を実施
- 地方創生に係る協議・研修

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

総合戦略に掲げた各施策の効果を客観的に検証するため、施策ごとにKPI（重要業績評価指標）を設定しており、KPIの達成度による施策の検証と、改善する仕組み（PDCAサイクル）を構築することが重要である。

担当部署 部名 総合政策部 課名 秘書政策課 担当係長 赤坂秀樹 内線 211
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1. 花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議の開催 255千円

総合戦略により実施した施策・事業の効果を検証するとともに、第2次改訂版総合戦略を策定するため、有識者会議を開催した。

第1回（6/30）実施状況の説明及び意見交換

第2回（3/30）実績値（確定）及び市内人口動態の分析結果説明、第2次改訂版案の提示

- ・謝礼金 4,000円×延べ21人=84,000円
- ・需用費（参考図書、事務用消耗品） 60,183円
- ・食糧費（会議時の飲料水） 3,110円
- ・人口推計調査業務委託料 108,000円

※メンバー

- 市民（地域協議会、地域自治推進委員会）4名
- 産業界（商工会議所、JA、工業クラブ、観光協会）4名
- 行政機関（県南広域振興局）1名
- 教育機関（富士大学、岩手県立大学、岩手県高等学校長会花巻支会）3名
- 金融機関（岩手銀行、花巻信用金庫）2名
- 労働団体（連合岩手花北地域協議会）1名
- メディア（岩手日日）1名

2. 移住・定住の推進を図るための住民異動状況分析

岩手県立大学の協力を得て、市内各地域から首都圏・宮城県などの主要都道府県や盛岡市・北上市などの県内主要市町への年齢別・異動人数（単独、複数人の別）での転出超過の状況に加え、花巻市全市及び市内各地域（花巻地域、大迫地域、石鳥谷地域、東和地域）における岩手県外・花巻市外の県内・花巻市内との間での転入・転出の状況について分析を行った。

3. 地方創生に係る協議・研修 209千円

- ・謝礼 7,500円
11/19「ふるさと発見！大交流会in IWATE」における学生講師
- ・職員旅費 200,950円
仙台（日帰り） 1/31、2/22
東京（泊2日） 7/31-8/1、8/31-9/1、10/12-13、12/7-8